

名古屋市南区老人クラブ連合会 会報誌

なごやか 南 クラブ だより

第6号

60周年記念増刊号

ひまわりは南区の
「区の花」です！
太陽のイメージを連想させ
南区にふさわしいとして
昭和63年に制定されました

第23回
趣味の作品展

創作の 百花繚乱！

世界にひとつの手作り作品展。「こんなの作ったよ！」と笑顔があふれ、作品にまつわる思い出話にも花が咲きます。創る楽しさと交流の喜びが広がる手作り作品展には、創意工夫された作品が大集合。「次は、何を作ろうかな」と目を輝かせる姿も印象的。

創作を通じて心も体もいきいき、笑顔いっぱいの作品展になりました。



会長あいさつ

創立60周年を迎えて



南区老人クラブ連合会
会長 田口 欽郎

南区老人クラブ連合会（なごやかクラブ南）は、創立60周年を迎えることができました。昭和39年8月「名古屋市南区老人クラブ連絡協議会」として21単位クラブで発足しました。

翌年には35単位クラブが誕生し、平成元年に165単位クラブの大組織に発展しました。その後、生活環境や地域社会構造の変化により、少しずつ単位クラブの解散・脱会が

進み、現在11学区に58の単位クラブ、会員数2200名以上の組織団体となっております。これまでの活動を支えてこられた多くの諸先輩方のご尽力に心から感謝申し上げます。

老人クラブは多くの会員と役員の手で支えられ、継承されております。地域の高齢者はクラブ活動を通じて、お互いに健康増進に関心を高め、旅行やニュースポーツを楽し

み、健康づくり・仲間づくり・生きがいづくり・社会奉仕などを進めてまいります。

昨今、地域コミュニティの希薄化が進む中、高齢者世帯の半数以上が一人暮らしか老々世帯となっており、孤立化の状況になりつつあります。今後私たちが未来に向けてどのような活動をしていくべきか、会員のみならず、今一度「健康・友愛・奉仕」の三大運動を柱とし

た様々な活動を行い、魅力ある老人クラブを目指し会員増強を目指してまいります。

今後70周年に向けて、会員減少による組織の改革、地域はどうあるべきかを考え、老人クラブは、安心・安全に暮らせる地域を支える大事な担い手の一つとなることを願っております。今後ともご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

区長あいさつ

南区老人クラブ連合会 創立60周年を祝して

南区長
作田 宏幸



南区老人クラブ連合会（なごやかクラブ南）が昭和39年8月に設立し、令和6年には満60歳を迎えられたと伺いました。創立60周年に際しまして心よりお祝い申し上げます。

この間、貴連合会は高齢者の健康づくり・仲間づくり・生きがいづくり・社会貢献等を通して地域の福祉向上に大きな役割を果たしてこられました。これまでの活動を支えてこられた多くの老人クラブ会員と役員の皆様のご尽力に深く感謝と敬意を表します。

超高齢化がますます進む中、南区の高齢者の割合は名古屋市16区で最高の30・1%（令和6年人口動向調査）という状況です。高齢者を取り巻く環境も大きく変化し、地域における人間関係の希薄化や、地域コミュニ

ティーの機能の低下が課題となっている中、老人クラブの存在と活動は、極めて重要であると考えております。

南区役所といたしましても、令和6年に策定した第2期南区将来ビジョン（ひまわりビジョン2028）に基づき、「だれもが健康で生きがいを持って暮らせる地域づくり」を進めてまいります。貴連合会の皆様におかれましても引き続き様々な活動を実践していただき、ともに「このところのかよう、あたたかいまち南区」を目指したいと考えておりますので、今後ともよろしく願いたします。

最後になりますが、この設立60周年を機に、貴連合会がますます発展されますとともに、老人クラブ会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

現状をどうとらえる？



前会長
刀根 祐三

元会長
森 孝雄

日時 令和6年9月18日

出席者

森 孝雄 (平成27・28年度 会長)
刀根 祐三 (平成29・30年度 会長)
田口 欽郎 (令和元年度～ 会長)
宮地 康男 (令和2～6年度 副会長)
伊藤 雅命 (平成30年度～ 副会長)

田口 (会長) 昭和39年8月

7日に21クラブをもって南区老人クラブ連絡協議会が発足し、60年以上の年月が経過しました。近年、会員数は減少を続けていますが、本日は、減少傾向真つただ中で南区老人クラブ連合会の会長として、ご尽力いただいた森孝雄(平成27・28年度会長)様、刀根祐三(平成29・30年度会長)様にお越しいただいております。当時の苦労話や今後の老人クラブの課題等、あるいは私たち現役員への意見もあるうかと思いますが、貴重なお話をいただければと思います。

森 (元会長) 私が会長の時は、1年で会員が5%程減少していました。

スポーツ活動等の行事は基本的に変わっていないと思いますが、以前は、吹き矢やシャフルボードをやったりいろいろ

る取り組んだ思い出があります。老人福祉大会は500人位の参加があり盛大でしたが、会員の減少傾向に加えてコロナ禍による制約も生まれて、今は、私の時と比べて様変わりしている点も多いのでは？

伊藤 (副会長) スポーツでは、ボッチャやカローリングが広く行われるように変わってきました。グラウンド・ゴルフは昔から人気がありました。が、それは個人競技であることが理由だと思っています。チームプレーのゲートボールはトラブルが多く発生して人気が無くなつてしまったと思います。

刀根 (前会長) 区老連がどういう運営方針で臨むのか？老人は増えているのに会員が減るという逆現象が生じている。例えば、サロンへ参加してもらふことをもっと積極的に取り組むとか。会員減少にどうやって対処すればよいのだろうか？

森 (元会長) 行政の支援も必要と感じていました。区長や区政の委員長に何回も要請して話をする機会を得ましたが、老人クラブが何をやるのか言ってくれば手伝うとのことで具体的な話にはならなかったです。

宮地 (副会長) 町内単位での老人クラブという組織のデメリット、区域や町内会からの援助や会員の仕切りという垣根の問題ですが、逆にもっと自由な組織にする町内との関係が希薄になつてしまつて、回覧等の情報提供や会としての意思をどの場で決めるのかといったことも難しくなる。いずれにせよ、老人クラブでの受益はありがたいが負担は遠慮したいということが根底にあつて難しいですね。

田口 (会長) あつちこつちと、区域についてはある程度無視して間口を広くして集める。これからは自分のクラブだけではなく、間口をどんどん広

げることが必要でしょう。

伊藤 (副会長) スポーツを入り口に、例えば、ボッチャ大会に出たいので老人クラブの会員になるという例は多いと思います。

刀根 (前会長) 80歳を超えてから老人クラブに入るのではなく、やはり75歳くらいまでには入つてもらふ。見学や健康面での活動を担つてもらふ層が必要で、高齢者の青年部を作つていたきたい。前から言われているが老人クラブという名前も気になるし、老人クラブとひとくくりで捉えるのではなく段階別の組織ができれば、もっと活発になるのでは？



老人クラブの拡大は？

伊藤（副会長） スポー

ツへの興味を基本に広げていくことは、まず挙げることができないのではないのでしょうか。ただ、前にも出たように、町内単位にあまり捉われない部分を老人クラブの組織でどう扱うか。町内単位ではなく活動を考える時に生じるデメリット…情報提供に代表される世話役の負担増が目に見えてくるし…。

刀根（前会長） メーカー

や販売会社の協力を得て各学区で消費者相談をやったことがある。99%は女性の参加であったが、大変好評で継続してやっ

て欲しいという意見も多
くいただいた。

宮地（副会長） 理事だ

けで決定するのではなく、
テーマによって拡大会のよ
うな場を柔軟に作って具
体的な運営を練ることも
必要。そうすれば意見も

多く集まり視野も広がり、
老人クラブが何をやって
いるか、何をやるうとして
いるのか、誰がやっている
のか、誰が広く伝わる効果も
期待できるのでは？

刀根（前会長） 大磯学

区から相談を受けて80名
位講堂に集まり、警察、
保健所等で講演を行って
もらった。こうしたこと
もやっていったらどうか？

伊藤（副会長） 何をや

るにしても、過性で終わっ
てしまう不確定さが残っ
てしまう。お世話をして
いく会長の担い手がいな

いのが実情で、参加する
人が次の担い手になり得
ない。そこに何か工夫が
いりますね。

刀根（前会長） 人間関

係の軋轢の影響も無視す
ることはできないしね。

森（元会長） 昔から、

女性会員の方が圧倒的に
多いのに、女性リーダー
が減少している。もっと
女性会員の活躍を考える
必要がありますね。

田口（会長） そうです。

各クラブの女性会長さん
は58クラブ中7名で、一
方、会員数は大体4…6
という男女比をみるとお
かしな話です。会員
増を図るにしても、組織の
活性化を考えるにしても
女性会員にもっと活躍し
てもらおうようにしないと
うまくいかないと思います。
会員数の減少が続くな

かですが、地域のつながりと
世代を超えた交流の場とし
て、まだまだ老人クラブが
魅力ある組織へと成長して
いくことが可能だと思ってい
ます。

【まとめ】

超高齢化がますます進む
中で老人クラブの存在は、
地域コミュニティを維持
する上で、極めて重要である
ことは間違いないと思いま
す。また、長く高齢期を自
立して暮らすには、高齢者
同士支え合いながらの、互
助関係が非常に重要になっ
ています。

女性の会員が6割を超え
る現在、目的や活動内容の
見直しの時期にもきていま
す。「地域に限定しない」
等、組織運営の方法なども
見直し、自由な組織等に改
革して、若い世代も入りや
すいクラブに変えていく時
期にきているのでは…。

南区老人クラブ連合会のあゆみ

（市老連の動き）

◆昭和39年8月7日

21の単位クラブをもって

「名古屋市南区老人クラブ連絡協議会」発足

（昭和40年2月1日 9区の区老連による

「名古屋市老人クラブ連絡協議会」設立

◆昭和51年1月

桜台高校生の作品贈呈始まる（現「きずなの品」
贈呈式）

◆昭和62年5月

「名古屋市南区老人クラブ連合会」に名称変更
（市も「名古屋市老人クラブ連合会」に名称変更）

◆平成元年4月

165クラブ、会員数9千5百余名の大組織に

◆平成3年4月

南区老人クラブ活動推進員配置

（平成7年 市老連のピーク、2198クラブ、
会員数13万826名）

（平成25年4月1日 市老連 公益社団法人化）

◆令和4年12月

会報誌「なごやかクラブ南だより」を発刊

◆令和6年4月

58クラブ、会員数2280名

（市老連 966クラブ、会員数37842名）

アルバム



名古屋市南区老人クラブ連合会では「健康・友愛・奉仕」の3つの柱をもとに様々な活動を行ってきました。これからも会員の皆さんとともに健康長寿をめざして活発に活動してまいります。

活動アルバム



R5
7月 社会見学会「琵琶湖博物館」



R5
7月 社会見学会

元気の源!



R5
6月 代表者研修旅行「兼六園」



H30
5月 グラウンド・ゴルフ大会



H25
7月 社会見学会「大安禅寺生き生き法話」(福井市)



H31
2月 趣味の作品展での小物作り



R6
9月 全国一斉社会奉仕の日



R5
5月 総会



R5
9月

マフラー贈呈



R5
10月

ペタンク大会



R5
7月

社会見学会「滋賀県 建部神社」

老人クラブが



H23
1月

第13回ニュースポーツ大会



S57

第1回ゲートボール大会・参加賞



R5
10月

ポッチャ大会



R5
10月

市老連健康マージャン大会



H26
9月

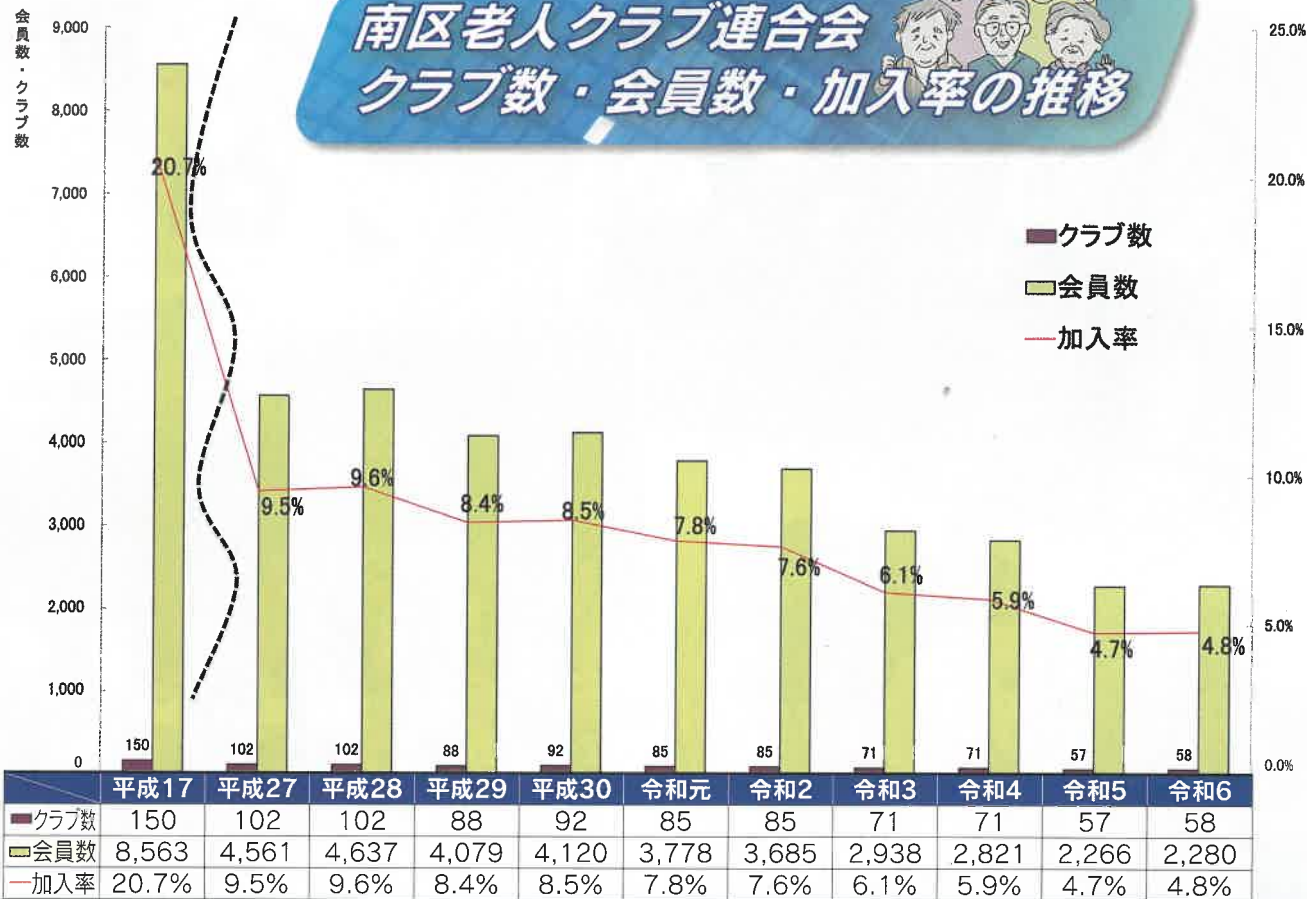
第48回老人福祉大会



R5
5月

グラウンド・ゴルフ大会

南区老人クラブ連合会 クラブ数・会員数・加入率の推移



年度	クラブ数	会員数 a	60歳以上人口（公簿） b	加入率 a/b
平成17	150	8,563	41,346	20.7%
平成27	102	4,561	48,245	9.5%
28	102	4,637	48,294	9.6%
29	88	4,079	48,483	8.4%
30	92	4,120	48,471	8.5%
令和元	85	3,778	48,414	7.8%
2	85	3,685	48,387	7.6%
3	71	2,938	48,281	6.1%
4	71	2,821	48,174	5.9%
5	57	2,266	47,944	4.7%
6	58	2,280	47,794	4.8%



令和6年度 役員研修旅行



華蔵寺：
慶長五年（1600）に創建した臨済宗寺院



三河湾



抹茶の製造工程を
学びました



吉良家墓所には義安以下、
代々の墓が建ち並んでいます



吉良義央公の木像



1歩1歩石段を上が
り、清々しい気持ちに
なりました！

令和6年12月12日～13日に役員研修旅行を行いました。行き先は蒲郡方面です。まず、西尾市の華蔵寺を参拝し、西浦温泉で宿泊。次の日は、松鶴園にてお茶工場を見学し、ラグーナ蒲郡へ。施設側の都合で行程が変更となった研修旅行でした。

◆西尾のお茶

西尾市はお茶の生産量全国約20%を誇る名産地。1271年の実相寺に始まり、明治以降本格化。現在は全国唯一の抹茶特化地として知られます。見学先の松鶴園では、抹茶の製造工程を分かりやすく説明していただき、買い物を楽しみました。

◆華蔵寺

華蔵寺は吉良家の菩提寺で、

1600年に創建。吉良上野介義央公の木像を祀り、毎年12月14日に法要が行われ多くの参拝客が訪れます。

◆西浦温泉

西浦温泉は、三河湾に突出した西浦半島の先端に開発された温泉地で、古くから西浦半島一帯は歌垣として利用された場所であり、1887（明治20年）頃には周辺で潮湯治が始まりました。1953（昭和28年）に西浦温泉が開湯したそうです。ここで1泊して、三河湾で一望できるパノラマを満喫しました。



星崎学区にある喚續神社（よびつぎじんじや）の記録では、寛永9年8月14日（1632年9月27日）の午前0時過ぎ、南野村に隕石が落ち、石は喚續神社へ寄進され長く社宝として祀られてきました。1976年に国立科学博物館の村山定男氏によつて隕石と確認され、南野隕石と命名。現在は国立科学博物館に所蔵され、日本で2番目に古い隕石とされています。（展示された隕石はレプリカです）





戦略で勝負!! 白熱のボッチャ大会



令和六年度
南区老人クラブ連合会
第一回ボッチャ大会
令和七年一月二一日



敢闘賞：呼続 A チーム

令和7年1月21日、南区役所講堂で南区老人クラブ連合会第1回ボッチャ大会を開催しました。1チーム3名の編成で、計22チームが接戦を繰り広げました。

参加者たちはチームごとに戦略を練りながら一球入魂。白熱した場面では会場に大きな歓声が響き渡りました。

参加者からは「楽しかった」「また挑戦したい」という感想が多く寄せられ、大会は大好評。競技を通し、健康促進だけでなく、交流を深める素晴らしい機会となりました。

次回大会への期待がますます高まります。

審判の計測に
緊張の一瞬

高度な頭脳戦が
おもしろい!

優勝インタビュー

令和7年1月21日



千鳥 B チーム

吉岡義春さん、大野和子さん、今井静子さん

一致団結して戦略を立て、見事優勝を果たした千鳥Bチームの皆さん。月に1回、12~13名の仲間と共に練習を重ねています。「ボッチャは戦略次第で勝敗が左右され、ゲーム性のあるところが魅力」と話します。次戦を見据え「楽しく、愉快地に」そして「これからも勝ちにこだわりたい」と、意気込みを語りました。



楽しくって
仕方ない!

戦略次第で
一発逆転も



準優勝：南生苑チーム



第3位：星崎 A チーム

令和6年11月17日に道徳公園、道徳小学校、大江中学校一帯で「南区民まつり」が開催されました。天候にも恵まれ、延べ3万人の方にご参加いただき、大盛況の区民まつりとなりました。



南区民まつり 2024

私たちのブースでは、毎年ニュースポーツの体験をしていただいています。

今年は名古屋発祥のニュースポーツ「クーリング」を紹介。150名の方に参加していただきました。今回は大江中学校体育館での開催でしたが、次回は日本ガイシスポーツプラザの予定です。

今後も、子どもから大人まで、皆さんが楽しみながら交流を深められる区民まつりを盛り上げていきたいと思っています。

今日から あ な た も 認知症サポーター!



「認知症になっても安心して暮らせるまち」をつくるために

認知症サポーターとはどんな人?

なにか特別なことをする人ではありません。

認知症について正しい知識と理解をもち、地域の中で認知症の人や家族を温かく見守る人のことです。一緒に地域で安心して暮らせるまちをつくりましょう!



開催日時

※全日程同一内容です。ご都合のよい日にご参加ください。

参加無料

第1回

令和7年

6月16日(月)

午後2時~3時30分

第2回

令和7年

10月20日(月)

午後2時~3時30分

第3回

令和8年

2月16日(月)

午後2時~3時30分



開催場所

南区役所庁舎

4階「打合せスペース」(旧食堂)

(南区前浜通3丁目10番地)



マスコット
【ロバ隊長】

認知症サポーターキャラバン事業とは、「新オレンジプラン」政策の柱のひとつで、サポーター数は全国で累計1千万人を超えました。

サポーターの輪を広げて
あなたのまちを
やさしさでいっぱいにするよ。



申し込み・問い合わせ

南区南部いきいき支援センター

電話: 052-819-5050

南区前浜通3丁目10番地南区役所庁舎4階

興味のある人はどなたでも参加できます。どうぞお気軽に左記の「いきいき支援センター(地域包括支援センター)」までお申し込みください。

※申し込みがない場合は中止とすることがございますので、参加希望の方は事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

なごやか
クラブ南

会員募集中!



一緒に活動しませんか?



皆さんの加入を
お待ちしております!

人生100年時代における
老人クラブの役割

集いは、人生を楽しくします。
集いは、心の支えとなります。
集いは、健康長寿に貢献します。

お問合せ先

南区老連事務局（南区役所福祉課内）

TEL 052-823-9413

市老連のホームページ【URL】 <https://www.nagoyarouren.com>

こちらからも
アクセスできます!



編集後記

新緑が目にあふらしい季節となりました。「なごやかクラブ南だより」第6号（60周年記念増刊号）が完成し、会員の皆さんの元気な姿や、笑顔あふれる活動の様子をお届けできたことを嬉しく思います。

取材を通じて感じたのは、人と人とのつながりの温かさ。趣味や交流を通じて、ますますいきいきと過ごされている様子に、こちらでも元気をもらいました。これからも楽しく、健康に過ごしていけたら幸いです。

◆ スポンサー様へのお礼

本誌の発行に際しまして、広告掲載のご協賛をいただきました各位に厚くお礼申し上げます。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

南区老人クラブ連合会